

目次

□巻頭言

希望……………最上 武雄 1

□原子力発電所の建設工事

福島原子力発電所建設の工事概要……………伏谷 潔 3

敦賀原子力発電所建設の工事概要……………大西 外明 9

島根原子力発電所の計画概要……………南 一良 14

□超高層ビル建築めぐり

新宿副都心計画……………村山 和彦 18

超高層建築の機械化施工……………藤原 襄 22

朝日東海ビル新築工事概要……………梅本 高久 35

□海外工事の現況

ムダ河開発工事……………徳留 正治 39

ブレクトノットダム建設工事……………荒井 力 44

遠見ダム建設工事……………加倉井 活弥 48

グラビヤ——躍進する国土建設

□随想

夢をもて、そして夢に向かって前進せよ……………酒井 智好 54

<報告>

ISO/TC 127 会議について……………山本 房生 56

<文献抄訳>

西ドイツにおけるアスファルト道路舗装工事の動向……………調査部会  
文献調査委員会 60

□建設機械化講座 第80回

現場ファーマンのための土木と施工誌

XV. 海上工事

4. 基礎工事……………運輸省  
第二港湾建設局 64

□建設機械化研究所抄報

試験研究報告 (No. 59)……………建設機械化研究所 71

□文献調査

連続的コンクリート混合方式……………調査部会  
文献調査委員会 78

□支部だより

万博会場と山陽新幹線トンネル現場見学会……………中国四国支部 80

ニエーズ……………(編集部) 83

会員消息……………85

行事一覧……………86

編集後記……………浅井・水野 88

◀表紙写真説明▶

福島原子力発電所は東京電力のはじめての原子力発電所として昭和41年秋建設準備工事に着手し、以来昭和45年10月営業運転開始をめざして建設工事は順調に進んでいる。

当発電所工事の特徴としては、標高35mの断崖を切り拓き、さらに発電所冷却水の取水および大形機器の搬入のために外洋に港湾設備を設置したことである。

この敷地造成ならびに構内道路は熊谷組が請負、掘削土量は120万m<sup>3</sup>で大体半年で処理した。港湾設備の防波堤総延長は2,400mにもおよび、このような荒海に面した地点でわずか3~4年の短期間で作ることは前例をみないことであるが、この港湾の後継堤立防波堤築堤は五洋建設が担当した。この工事に使用する石材約100万tは当所から17kmほど離れた原石山から採石し、構内に運搬して粗骨材を製造したが、これには間組が、さらにこれを使ってコンクリート方塊凹形ブロック、テトラポッド、および生コンクリートの製造は前田建設工業が担当した。

発電所については、建家を含み機器の供給はGEが一括契約し、GETSCOが工事施工の責任を請負っており、電気機械工事と建家工事は分離発注し、建家工事は鹿島建設が施工している。また、電気機械関係に伴う原子力容器等の重量物運搬は宇徳運輸が当たっている。